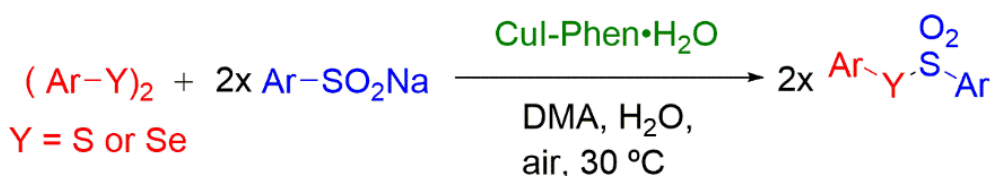


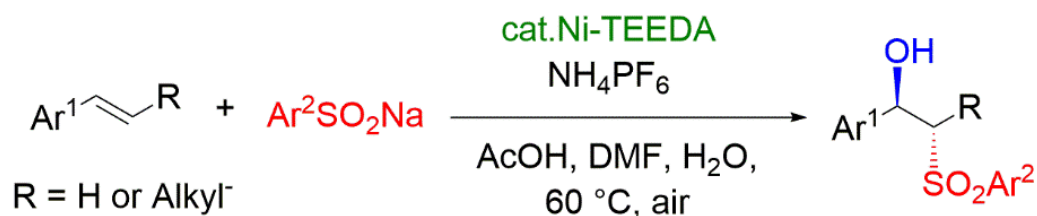
本研究室では、遷移金属触媒を用いて、炭素-カルコゲン、カルコゲン-ヘテロ原子結合を簡便に合成する方法を研究しています。

特に、安価でかつ入手容易な銅やニッケルを中心とした前周期金属を触媒として用いた効率のよい触媒反応の開発を行っています。

【最近の研究】



J. Org. Chem. 2015, 80, 7797.
Application: Tetrahedron 2017, 73, 2030.



J. Org. Chem. 2015, 80, 7797.

【大学URL】<https://www.fmu.ac.jp/univ/igakubu/index.php>
 【研究室見学】見学可能。taniguti★fmu.ac.jp(★を@に変更)まで連絡して下さい。